

大人用



伝道地便り

2022年 第1期 南アジア太平洋支部

第1話「神様の畑での働き」	東ティモール
第2話「私たちのもとに來た天使」	東ティモール
第3話「奇跡のバス」	東ティモール
第4話「ウドムサイの未亡人」	ラオス
第5話「母を赦すということ 前編」	タイ
第6話「母を赦すということ 後編」	タイ

ADVENTIST
MISSION

セブンスデー・アドベンチスト教団 伝道局 安息日学校部

伝道地便りの用い方のヒント

伝道地便りに収められているのは、現地からの一人ひとりの生きた経験です。安息日学校でこれを用いるときには、生き生きとご紹介していただきたいのです。そのためのヒントを、いくつか挙げていきます。

- 1) 前もって何度か目を通し、自信を持って読む。
- 2) 棒読みは避け、証されている大事な部分を明確にしておく。
- 3) 伝える時間はできるだけ短く。長くても5～7分。
- 4) 誰が、いつ、どこで、何を、なぜ、どうしたかが分かるようにする。
- 5) できたらカードに文字や絵を書くなどの視聴覚的工夫を。
- 6) 時には、スキット(寸劇)風にしてくださっても良いですね。

伝道地便りは、私たちが自分の証をするときの練習になります。主の愛の証のために、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして」紹介しましょう。

1. 神様の畑での働き

東ティモール



マリオ・ダ・コスタ 44歳

野菜畑は、神様の御言葉を教えるのに最適な場所です。真実の種は、畑のような場所にこそ根を張ります。東ティモールの人々の多くは、自宅の周りで野菜を育てています。作物は貴重な食糧となり、余分に採れた分は収入源となります。家庭菜園で必ず育てられる作物には、トウモロコシ、キャッサバ、サツマイモなどがあります。また、葉野菜やかぼちゃ、パパイア、バナナ、ピーナッツなども多くの畑で育てられています。

ある日私が自宅の畑の手入れをしていると、セブンスデー・アドベンチストのリーダーが私の家に立ち寄り、言いました。

「伝道師を育成する3か月のプログラムがあるのですが、参加してみませんか？」

バプテスマを受けて間もなかった私は、イエス様の愛を分かち合いたいという強い思いから参加を決めました。育成プログラム終了後、東ティモールの首都ディリで受講を終えた全員が集まり、誰がどこで伝道師として仕えるかが発表されました。私は選ばれませんでした。任務地の数よりも

伝道師の数が多かったのです。私は地元の村に戻り、畑に専念する傍ら、教会での活動に力を注ぎました。

それから数年が経ち、ディリのもう1人の教会のリーダーから連絡があり、「あなたの住んでいる地域で伝道師としての働きをしてみませんか？」と言われました。すぐに承諾し、働きを開始しました。コドという村に行き、村人のアドルフォという人に会い、自己紹介をしました。自分が少し離れた村の住人であること、セブンスデー・アドベンチスト教会の伝道師としてこの村に来たことを伝えました。彼はセブンスデー・アドベンチスト教会について聞いたことがなく、もっと話が聞きたいと興味を示してくれました。

私は、自分がどのように7日目の安息日についての聖書の真理を学び、セブンスデー・アドベンチスト教会の一員となることを決心したか、アドルフォに話しました。そして聖書を開き、本当の主の日は日曜日ではなく、土曜日であることを話しました。すると私たちの会話でアドルフォの心が強く動かされていると感じたので、彼の心に働きかけてくださいと聖霊に祈りました。

3日後、アドルフォの家を再訪し、近所に住むアンジェロの畑と一緒に手伝いながら聖書の学びをしないかと誘いました。村の人たちは、私が畑を手伝うのを歓迎してくれると気が付いたので、畑で作業をしながら聖書について話そうと思ったのです。アドルフォと一緒にアンジェロの畑を手伝いながら、神様の御言葉を分かち合いました。アドルフォもアンジェロも、会話を楽しんでいる様子でした。午後遅くに作業が済むと、アドルフォが来て私のところに来て言いました。「私と聖書研究をしてくれませんか？」

その後、アドルフォと私は夜に聖書研究をするようになりました。村には電気が通っていなかつ

たので、ランプを灯すための石油を提供しました。そして日中は他の村人たちの畑の作業を手伝いながら、聖書について教えました。

アドルフォは、その村で初めてのアドベンチスト教会員となりました。すると今度は、アンジェロが聖書研究をしてほしいと申し出てくれました。彼は 12 年もの間、地元の教会の集会をまとめているリーダーだったため、村人の多くは、彼が私と聖書研究をするのを見て、怒りを露わにしました。私を傷つける計画もあったそうです。アンジェロは、彼自身や私の身の安全を心配して、聖書研究を中止しようと提案してきました。ちょうどその頃、彼の畑で乾燥して皮の剥がれたココナッツを集めて食べていました。私は乾燥したココナッツの一つが発芽している事に気が付きました。通常、枯れたココナッツから発芽することはありません。

私はアンジェロに言いました。「このココナッツを土に植えてみて、神様と取引をしてみませんか？ もし神様のお働きがこの地に生きるのであれば、このココナッツも生きる。反対に、もし神様のお働きがすぐに終わるか、この地において死ぬことになるならば、このココナッツも枯れるということにしましょう」

10 年という年月が経ち、その枯れたココナッツは健康な木に成長していました。アンジェロもそれに気が付きました。この村を最近訪問した際、アンジェロに会いました。そして彼は、バプテスマを受ける決意を告白したのです。

神様がこの東ティモールで私に与えてくださった畑という場所において、たくさんの魂が主に導かれるよう祈っています。

6 年前の皆様の 13 回献金により、東ティモールの首都ディリで最初の、そして唯一のセブンスデー・アドベンチスト学校を開校することができました。今期の献金の一部は、コドのような遠い山奥の村にいる子どもたちが学べるように、学校の寮の建設資金として用いられます。皆様の惜しみない献金を感謝いたします。

〈お話しのヒント〉

- ・発表・シェアする際は、可能であればこの証を男性に読んでもらいましょう
 - ・この前と次のお話でマリオについてもっと読む事ができます（英文のみ）。
 - ・Facebook (bit.ly/fb-mq) から写真をダウンロードしてください。
 - ・南アジア太平洋支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。
bit.ly/ssd-2022
 - ・この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会が掲げる“I Will Go”戦略計画の以下の構成要素を表しています。それは「宣教における目標」の 1 番目にある、「牧師のみならず、全世代の教会員 1 人ひとりが、世界宣教の概念を復興し、その使命のために献身し、キリストの証人となり弟子を作るという喜びを实践する」と、2 番目は、「都市、10/40 ウィンドウ、未開拓地や宣教地におけるクリスチャンではない人々に対する伝道を強化、多様化する」です。そして「霊的成長における目標」の 5 番目は、個人も家族もキリストの弟子とし、霊的に満たされた生活を送れるようにする」です。
- 東ティモール・アドベンチスト・インターナショナルスクールの寮建設事業は、宣教における目標の 4 番目である自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々のうちに神のかたちを回復するということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」を達成する手助けとなるでしょう。この戦略については、IWillGo2020.org に詳しく載っています。

2. 私たちのもとにきた天使 東ティモール

ルシオ&イェルリ・ディアス

ルシオと彼の妻イェルリは、差し迫ったイエス様の再臨を東ティモールの伝道未開拓地の人々に宣べ伝えることで、石を投げつけられるとは思いませんでした。そして天使と出会うことになるなどとは思っていませんでした。

人口 130 万人の東ティモールにある 30 の言語のうちの 1 つである、ファタルク語を話す人々に福音を伝えるため、グローバル・ミッションの宣教師たちが山々へ遣わされました。この夫婦にはある強みがありました。ファタルク語はルシオの母国語だったのです。どこから始めたか良いのか分からないまま、彼らの地区にある 4 つの村を祈りの行進をして歩くことから始めました。しばらくして、彼らは自分たちの借家で算数と英語を教える放課後クラスを始めることにしました。

放課後クラスの人気は途端に上がり、当初 12 人だった子どもの数はほんの数週間で 57 人にまで増えました。毎日、聖書のお話と祈りと共に放課後クラスは始まりました。2 か月経った頃、子どもたちは友だちに、イエス様がすぐにいらっしゃる、天国に行きたいかどうか、など話すようになりました。子どもたちの中にはセブンスデー・アドベンチスト教会の一員になりたいと望む子も数人出てきました。ルシオとイェルリは希望を感じました。

しかし 3 か月目に入ると事情が変わってきました。クラスに参加していない子どもたちが、クラスに通う生徒たちを脅したり問い詰めたりすることで、クラスの進行を妨げるようになったのです。やがて、4 人から 6 人の子どもたちしかクラスに来なくなってしまいました。

そしてついにルシオとイェルリは、借りていた家の大家さんに出ていくようにと言われてしまったのです。夫婦は小さな家への引っ越しを余儀なくされ、そこで子どもたちのクラスをすることはできなくなってしまいました。

その後ルシオは、数人の村人がバプテスマを希望していたため、4 つの村のうちの 1 つの村で伝道講演会をすることにしました。講演会が終わる頃には、その村のほとんどの人たちが集会に参加していました。ルシオとイェルリは希望を感じました。

しかしある時ルシオが、1 週間に 3 つのタンクと量が決められている井戸水を汲みに行くと、1 人の女性に呼び止められました。「私の村の人たちにあなたの印刷物を渡さないで。改宗させようとしなくてほしい」と彼女は言いました。

「どういう意味ですか？」とルシオは聞きました。

「私はあなたが何を考えているのか分かりますよ。私をだまそうとしてもそうはいかない。私の村の人たちにお金をあげてあなたたちの教会に行くように説得しているのでしょう」と言いました。それは濡れ衣でした。誰にも金銭の提供などしていませんでした。

不意にその女性はルシオを手で叩いてきて、そばに立っていた彼女の成人の息子も殴りかかってきました。そして親子で石を手に取りグローバル・ミッションの宣教師に投げつけたのです。幸い石がルシオに当たったことはありませんでした。人が集まってくると、誰かがルシオを撃ち殺そうと脅し、家にライフルを取りに走り去りました。親切な村人がルシオをかくまってくれ、彼は村から逃げることができました。

2 か月後、アドベンチストのリーダーが 4 つの村のうちのもう 1 つの村で開かれる伝道講演会で話すためやってきました。集まる人は日に日に増え、ルシオとイェルリは希望を感じました。

しかしある夜、数人の男性たちが、集会が行われているテントに向かって石を投げつけてきました。1 つの石がボランティアの看護師の頭に当たり、彼の顔には血が流れ落ちました。その日の夜の集会は中止となりました。

そしてその後家に帰る村人たちを乗せた教会のトラックに、また石が投げつけられました。村人たちは

恐れしました。すると突然、光る衣をまとった7人の背の高い男性たちが現れました。この男性たちを見たのは3人の青年たちで、講演会の会場から山のほうに歩いていき、姿がどんどん小さくなり消えていくまで青年たちは驚愕しながら見ていました。その後石が投げつけられることはありませんでした。

7人の光る衣をまとった男性たちの話を聞き、村の人たちは神様がご自分の民を守るために送られた天使たちだと確信しました。詩編 34 編 8 節「主の使いはその周りに陣を敷き、主を畏れる人を守り助けてくださった。」

次の安息日、13人の若者がイエス様に人生を献げる決心をしてバプテスマを受けました。その中には、天使を見た若者のうちの2人もいました。

驚くような試練にも関わらず、ルシオとイェルリは希望を持ち続けています。彼らは神様の救いを知っているからです。

6年前の皆様の13回献金により、東ティモールの首都ディリで最初の、そして唯一のセブンスデー・アドベンチスト学校を開校することができました。今期の献金の一部は、遠い山奥の村にいる子どもたちがこの学校で学べるように、学校の寮の建設資金として用いられます。皆様の惜しみない献金を感謝いたします。

〈お話しのヒント〉

- 写真に写っているのは、東ティモールのセブンスデー・アドベンチスト教会総理、レイモンド・ハウスと、天使の姿を見た3人の青年たちです。



- Lucio はルシオと発音します。
- Yelri はイェルリーと発音します。
- グローバル・ミッションの宣教師とは、一般信徒の方々で少なくとも1年間という時間をかけて、自分たちの文化の中の未開拓の地域にて人々を集める働きをしている方々のことです。彼らの強みはその文化を知っていること、同じ言語を話し、地元の方々と交わることができることです。2500人以上の世界伝道のパイオニアたちが世界中で働いています。

1990年から11000以上の新しいセブンスデー・アドベンチスト集団・会衆が集められています。

- Facebook (bit.ly/fb-mq) から写真をダウンロードしてください。
- 南アジア太平洋支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。bit.ly/ssd-2022

- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会が掲げる“I Will Go” 戦略計画の、以下の構成要素を表しています。それは「伝道の目標」の2番目にある「都市、10/40 ウィンドウ、未開拓地や宣教地におけるクリスチャンではない人々に対する伝道を強化、多様化する」です。東ティモール・アドベンチスト・インターナショナルスクールの寮建設事業は、4番目にある「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々のうちに神のかたちを回復するということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強め」という目標を達成する手助けとなるでしょう。この戦略については、IWillGo2020.org に詳しく載っています。

宣教メモ

- 東ティモール・ミッションは、南アジア太平洋支部による直轄の宣教地として2009年に組織されました。現在は、696名のアドベンチストが、1つの教会と2つの集会所で礼拝しています。人口は1,318,000人で、1,893人に対して1人がアドベンチストという割合です。

豆知識

- 東ティモールの工業分野では衣料品やボトルウォーターが生産されており、沖合には石油や天然ガスが埋蔵されています。

3. 奇跡のバス

東ティモール



ゼリンド・ホアオ・レイ 42歳

東ティモールで店の店主をしている 42 歳のゼリンドは、インド洋に浮かぶこの島に、禁煙のバスが与えられるように祈っていました。「主よ、私はタバコもお酒も、汚れた物を食べることもやめました。私の店ではタバコもお酒もコーヒーも紅茶も売っていません。しかし人々はまだタバコを吸うし、お酒も飲みます。どうか教えてください。禁煙のバスを購入して、人々が煙を気にすることなく移動できるようにしたいのです」

ゼリンドはまず、インドネシアの都市スラバヤに住む彼の姉に連絡をして、バスの値段を聞きました。すぐに返信が来て、バスの相場は通常 35,000 ドルほどでしたが、セールになっているバスを 31,500 ドルで見つけたとのことでした。

ゼリンドは興奮して兄のフェルナンドにバスのことを話しました。すると彼はそのうちの 10,000 ドルを出すと約束してくれました。ゼリンドは 15,000 ドルの保証金を支払わなくてはならなかったもので、貯金からそれを支払い、3 か月後にまた 6,500 ドルを支払いました。残りの 10,000 ドルの支払いについては、東ティモールの首都ディ

リにバスが船便で到着した際に、彼の兄が約束してくれたお金で支払うことにしました。

日曜日の朝、ゼリンドに電話があり、港にバスが到着したので次の日に引き取りができるということでした。残りの支払いの 10,000 ドルを持っていかなければなりませんでした。兄がそのお金については支払う約束をしてくれていたの心配はしていませんでした。その日の夕方、ゼリンドと彼の妻は前の週の店の売り上げを計算していました。通常 10,000 ドルから 13,000 ドルなのですが、この週は 28,000 ドルも売り上げがありました。ゼリンドと彼の妻は顔を見合わせ、「一体何が起きているのだろうか?」と言いました。

朝になり、ゼリンドは兄の所に約束のお金を取りに行きました。ところがフェルナンドは、「電話をし忘れていたのだけど、助けると約束していた 10,000 ドルを払うことができなくなったんだ」と言いました。ゼリンドは笑顔でした。なぜなら、神様が既に助けてくださり、バスの支払いに必要なお金を与えてくださっていたからです。

そのバスは、サルベージン（救い）と名付けられ、島中で有名になりました。特に妊娠中の女性や、小さな子ども連れの母親たちの間で人気となりました。禁煙というだけではなく、街々を繋ぐこのバスにはいつも讃美歌がかかっていた。そしてバスの側面の大きな看板には、イエス様がすぐに来られるという黙示録 14 章の三天使のメッセージが掲げられています。

「皆このバスが大好きなんです」とゼリンドは言います。「タバコを吸ってはいけないというルールが皆に愛されている理由なのです」

警察さえもこのバスの支持者です。ある日東ティモール第二の都市バウカウの教会員からゼリンドに電話があり、警察が主要のバスターミナルまで来て運転手たちにこう言ったというのです。「あなたたちもサルベージン（救いの）バスのよう

になるべきです。彼らは誰にも喫煙を許しません。あなたがたも彼らを見習うべきです」

ゼリンドのもとには、バスのサービスの提供地域を広げてほしいとの人々の声がたくさん届いています。ゼリンドは、2台目のバスが与えられるように主に祈っていると応えているそうです。ゼリンドの影響で5人の人たちがバプテスマを受ける準備をしています。「神様は私のビジネスを祝福してくださいました。このバスや私の店を通して、人々を神様のもとへ導けることを、神様に感謝しています」

2015年の13回献金の一部により、東ティモールの首都ディリで最初のセブンスデー・アドベンチスト学校が建てられました。今期の13回献金の一部はこの学校の寮の建設のために用いられます。人口130万人のこの島にいるアドベンチストはたった700人ほどで、ゼリンドのバスのように、学校はイエス様を伝えるのに重要な役割を担っています。

〈お話しのヒント〉

- **Zelindo** はゼリンドと発音します。
- **Facebook** で写真をダウンロードしましょう。
bit.ly/fb-mq.
- 南アジア太平洋支部の情報「**Fast Facts and Mission Posts**」をダウンロードしましょう。
- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会が掲げる「**I Will Go**」戦略計画の「伝道の目標」の1番目の「牧師のみならず、全世代の教会員1人ひとりが、世界宣教の概念を復興し、その使命のために献身し、キリストの証人となり弟子を作るという喜びを実践する」と、2番目の「都市、10/40 ウィンドウ、未開拓地や宣教地におけるクリスチャンではない人々に対する伝道を強化、多様化する」です。「霊的成長の目標」の5番目は、「個人も家族もキリストの弟子とし、霊的に満たされた生活を送れるようにする」です。東ティモール・アドベンチスト・インターナショナルスクールの寮建設事業は、「伝道の目標」の4番目である「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々のうちに神のかたちを回復するということ」を掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」という目標を満たす手助けとなるでしょう。この戦略については、IWillGo2020.org に詳しく載っています。

豆知識

- 東ティモールは、ティモール島の東半分と、ティモール島北西部のオエクセと呼ばれる地域、およびアタウロ島とジャコ島という2つの小さな島からなっています。島の西側はインドネシアに属しています。東ティモールの総面積は5,743平方マイル（14,874平方キロメートル）です。

4. ウドムサイの未亡人

ラオス



サドゥア・リー 33 歳

サドゥアは北ラオスへの引っ越しについて乗り気ではありませんでした。ラオスでセブンスデー・アドベンチストがいない最後の県の1つ、ウドムサイに福音を伝えてほしいと教会のリーダーたちが頼むと、牧師であるサドゥアはたくさんの言い訳をして断りました。しかし最終的に、彼と彼の妻はその呼びかけに応え、冬の半ばに北ラオスの借家へ引っ越しをしました。

その冬はいつもの冬ではありませんでした。気温は観測史上初めて氷点下まで下がり、動物も植物も死にました。借家にはベッドも、冷蔵庫も、毛布も、何もない状態でした。屋根と壁、そして床がこの冬の寒さから身を守る唯一のものでした。不憫に思った近所の人たちが毛布を持ってきてくださいました。

しかしサドゥアにとって、気候は心配事のうちに入りませんでした。福音に反対する人々の地域で働きを始めるのは並大抵のことではなかったからです。彼と彼の妻は、初めて仲間の教会員無しで礼拝をしました。孤独を感じ、いつしか孤独は苛立ちに変わっていきました。福音をどう分かち合えばよいか、分からなくなっていたのです。間もなく、その土地の権力者たちが彼らについて調

査し始めました。苛立ちは恐怖へと変わりました。

サドゥアは教会のリーダーに助けを求めました。教会のリーダーは知恵が与えられるよう祈ることの他に何を提案したら良いか分からずにいました。

「祈りの行進を始めて、主に何をしたら良いか示していただきなさい」とリーダーは言いました。

そしてリー牧師はその通りにしました。彼は村中を歩きまわり、祈りました。村を一望できる丘でひざまずき、祈りました。

間もなくして彼は安息日の午後、村人たちの家を訪問し始めました。そして村に、悪霊に憑りつかれている1人の女性がいると聞き、様子を見に行くことにしました。すると本当に、女性が自宅の柱に鎖でつながれていたのです。2か月の間、5人の子どもの母親であるその女性は精神を病み、裸のまま柱につながれていました。犬のような生き様でした。彼女の夫が亡くなって間もなく、悪霊に憑りつかれてしまったということをサドゥアは知りました。

村の長老たちに許可を取り、この未亡人の女性のために祈ることにしました。長老たちも彼女を様々な治療法を用いて治そうとしましたが、何も効果がなかったのです。サドゥアは自分の手を彼女の上に置き祈りました。次の日も、また次の日も来て祈りました。1週間が経った頃、女性は飲食を普通にできるようになり、短い会話も交わせるようになりました。

ある日、彼女がイエス様に心を献げると、悪霊は彼女から出ていきました。村の長が彼女の鎖を外し、着る洋服も与えられましたが、彼女の家族は悪霊がまた戻ってくると恐れていました。女性とその5人の子どもたちは、親戚たちが自宅に安心して返せると思えるまで、サドゥアの家に引っ越ししました。

聖書研究を重ね、未亡人のその女性と彼女の10

代の子ども 2 人がバプテスマを受けました。この家族はこの県において最初のアドベンチストとなりました。ウドムサイの未亡人の身に起きたイエス様の癒しのニュースは遠くまで広まりました。たくさんの村人たちがサドゥアの元へ助けと癒しを求めて来るようになりました。そして多くの人々が福音のメッセージを受け入れ、イエス様を個人的救い主として受け入れました。

現在このウドムサイの未亡人の女性は、近隣の人々の稲を植え育てる手伝いをする代わりに、収穫した米の中から家族の食べる分を分けて貰い、生活しています。彼女には耕す土地も安定した仕事もありますが、5 人の子どもを食べさせなければなりません。どうか彼女と彼女の子どもたちのために祈ってください。そして大切なラオスの人々のためにお祈りください。

今期の 13 回安息日献金の一部はラオスでの学校建設のために用いられます。世界中に福音を伝えるための皆様の安息日学校伝道地献金を感謝いたします。

〈お話のヒント〉

- Sadua はサドゥアと発音します。
- Oudomxay はウドムサイと発音します。
- Facebook で写真をダウンロードしましょう。
bit.ly/fb-mq
- 写真に写っているのが村のために祈るサドゥア・リー牧師です。彼は 2019 年に癌に倒れてしまいましたが、彼の働きは今もラオスで実を結んでいます。
- 南アジア太平洋支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードできます。
bit.ly/ssd-2022
- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会が掲げる「I Will Go」戦略計画の以下の構成要素を表しています。それは、「伝道の目標」の 2 番目にある、「都市、10/40 ウィンドウ、未開拓地や宣教地におけるクリスチャンではない人々に対する伝道を強化、多様化する」です。

宣教メモ

- ラオスは、南アジア太平洋支部の東南アジア連合ミッションに属しています。セブンスデー・アドベンチストの最初の伝道の拠点は、1957 年にリチャード・C・ホールとその家族によって北西部の州の一つであるナムタに置かれました。しばらくして、ナイ・ムン・ランスリ、アベル・パンガン夫妻が加わり、1961 年にはマエオ族を中心とする 44 人の教会員による教会が組織されました。1962 年には、戦争のため宣教師は全員ラオスから避難しました。宣教師たちが去った直後、軍がナムタを制圧し、ミッションの建物は破壊されてしまいました。
- 1968 年、フィリピン人宣教師 A・G・ビトンとその家族がラオスに召され、伝道が再開されましたが、1975 年、東南アジアにおける共産主義の台頭によって、1984 年にタイとの国境が開かれるまで、ラオスとのすべてのアドベンチストの接触が断たれていました。10 年近くも断絶されていたにもかかわらず、2 つの教会が礼拝を続けていました。

豆知識

- ラオス国旗は横縞で、赤は自由と独立のために戦ったラオス人の血、青は繁栄とメコン川、真ん中の白丸は第二次世界大戦で日本がラオスの独立運動を後押ししたことから、日本の国旗へのオマージュとなっています。

5. 母を赦すということ 前編

タイ



シャーマイン・クー 38 歳

私の人生をイエス様にお献げした時、私が何年も戦っている1つの罪について聖霊が私の心に語られました。この罪は、十戒の1つである「あなたの父母を敬え」（出エジプト記 20 章 12 節）という掟を破るものでした。

「神よ、わたしを究め、わたしの心を知ってください。わたしを試し、悩みを知ってください。御覧ください、わたしの内に迷いの道があるかどうかを。どうか、わたしをとこしえの道に導いてください」という、詩編 139 編 23～24 節にあるダビデの祈りをお祈りの中でささげた時、私はこの罪に気が付きました。

ことの発端は、故郷のマレーシアにいた時、私がノンクリスチャンの彼とお付き合いを始めたことでした。母は私の彼を嫌い、またその思いを隠そうともしませんでした。彼が母に「こんにちは」と挨拶をしても、無視をすることもありました。彼を見かける度、母はあきれた表情を見せるのでした。私が彼とお付き合いをしていた8年もの間、この酷い緊張状態は続きました。

私も頭が硬いので、母の意見を考慮するという

ことを決してせず、母を困らせることを楽しんでいました。母と一緒にいるのが嫌になり、家には寝に帰るだけという状態になっていきました。

私は神様の赦しを求めて祈り始め、十戒の第5条を守るように助けてくださいと神様にお願いしました。しかしそれからまた2年間、毎日同じことを繰り返していました。朝のお祈りを終えて自分の寝室から出て、母に話し始めた瞬間から怒りが私を満たしていました。私と母は目を合わせることもなく、母はとにかく私を苛立たせました。私は必死に祈り続けました。ところが私は、ご飯が出来たと知らせるための、母が私の部屋のドアをノックするその音さえも嫌うようになりました。

私は本当に無礼な娘でした。とにかくそう振舞わずにはいられない自分がいました。数か月間、私は母と話すことをやめました。母が私に話しかけようとする時、完全に無視をしました。どのように母と話したら良いか分からなくなっていました。そして母を赦すなど到底できませんでした。

私はより一層祈りました。

神様は聖書を通して私の祈りにお答えになりました。ある朝、マタイ 6 章 14、15 節のイエス様の言葉を読みました。「もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない」。そしてエレン・G・ホワイトの『キリストへの道』の、「自己との戦いは最も大きな戦いです。自己に打ち勝ち、神のみ心に完全に従うには戦いを通らねばなりません。しかし神に服従しなければ、魂が聖化されることはないのです」という箇所を読みました。

そしていかに自分が危険な罪にしがみ付いていたのかを悟りました。母を赦すことを学ばなければなりませんでした。しかしどうしても、自らがへりくだり、母を受け入れ、赦す、ということが

出来なかったのです。

神様は私の心に働き続けてくださり、母ともう一度会話ができるよう助けてくださいました。神様を賛美します！ そこから始まり、これから長い道のりだということは分かっていました。私たちの間に会話は戻りましたが、そこに愛や忍耐はありませんでした。私の人間的な理論では、母は無礼な態度を取られて当然という理由がたくさんありました。この壊れた関係は私のせいだけでは無いことを、母も学ぶべきだと思うことが多々あったのです。

私は聖霊に祈りました。私を変えてください。しかしそれが不可能ならば、母を変えてください、と。すると作者不明の有名な言葉を思い出しました。「神様は時としてあなたの状況を変えることをなさりません。それはあなたの心を変えたいからなのです」神様が私を変えたいと思っていられすることは確信しましたが、一体どうすれば良いのでしょうか？

現在シャーメインはタイのコラートにあるアドベンチスト・インターナショナル・ミッションスクールの幼稚園で先生をしています。この仕事を始める前に、彼女はついに母親と和解することができました。この続きはまた次のお話で紹介します。

3年前の13回安息日献金により、シャーメインの学校でもあるアドベンチスト・インターナショナル・ミッションスクールは高等学校へと拡大し、新しい土地に教室やその他の棟を建てることができました。皆様の献金を心より感謝いたします。

〈お話しのヒント〉

- Facebook の写真をダウンロードしましょう。
bit.ly/fb-mq.
- 東アジア太平洋支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。
bit.ly/ssd-2022.
- この伝道地便りにある聖霊に導かれたシャーマインの人生は、セブンスデー・アドベンチスト教会の“I Will Go”戦略計画の以下の構成要素を表しています。それは、「聖霊の目標」の「聖霊に導かれるままに生きる」を例証しています。タイのミッションスクールの働きは、「伝道の目標」の2番目にある「都市、10/40 ウィンドウ、未開拓地や宣教地におけるクリスチャンではない人々に対する伝道を強化、多様化する」です。この戦略計画の詳細について、IWillGo2020.org でもっと学びましょう。

宣教メモ

- アドベンチストとして初めてタイを訪れたのは、R・A・コールドウェルで、1906年末から1907年初頭の数週間にわたってバンコクで文書伝道を行いました。それから10年以上経過した後、シンガポールのミッションスクールからバンコクにきた学生文書伝道者たちは、中国語の本を持って働いていたところ、安息日を守る人たちのグループを発見したと報告しています。これをきっかけに、1919年に組織的な宣教活動が行われるようになり、中国で教会の教えを受け入れたE・L・ロングウェイ、フォレスト・A・プラット、タン・ティアム・ツァがバンコクに定住しました。
- タイ人の最初のアドベンチストは、1925年にフォレスト・A・プラットからバプテスマを受けた青年で、後にバンコク療養所・病院の副事務長となりました。

6. 母を赦すということ 後編 タイ



シャーメイン・クー 38 歳

前回のストーリー：マレーシアにて人生をキリストに献げたシャーメインは、十戒の第5条に従って母親を敬わなければならないと悟ったのでした。しかし、どうすればそれが可能なのでしょうか？

自分の罪について、2年という長い間熱心に祈っていましたが、私は遂に神様に問いかけました。「主よ、どうやって私を変えるのですか？ お願いです！ どうにかして下さい！」

2018年の年末、私の2人の兄弟が家族の集まりのために故郷のマレーシアに帰ってきました。妹と妹の旦那さんはアメリカから、そして弟はタイから帰ってきました。普段遠く離れて暮らしていますので、このように家族全員が集まるのはとても珍しい機会でした。

私よりも11歳年下の弟ルーサーは、私と母親の確執に気が付き、タイに帰る日、私の朝のデボーションの本の中に手紙を残して行きました。私は次の日の朝、その手紙に気が付きました。ルーサーの手紙にはこのように書かれていました。

この手紙を書くことを僕は本当に心苦しく思っています。姉さんがたくさんの真理を学び、姉さんの人生に良い変化がもたらされていることを神様に感謝し、神様を称えます。姉さんが伝道の道を歩んでいることは、僕にとって本当に喜びですし、姉さんを見る度に誇らしく、自分も見習おうと思うのです。神様の栄光を称えます！

罪深く、不完全な自分なりに祈り、じっくり考え、なんとか勇気を振り絞って、姉さんの母さんに対する接し方、関係性について、手紙を書くことにしました。

母さんが完璧ではないことは分かっています。理不尽な時があるし、僕たちを苛立たせることがある。それでも彼女は、愛するために、尊敬をもって接するために、そして従うために、完全である神様が僕たちに与えて下さった母親なのです。僕も母さんに欠点があることはよく分かっているけれど、彼女の想いは常に大切な子どもを想う母親としての想いなのです。もしかすると、何故彼女がそのように振舞うのか、僕たちは永遠に理解する特権が与えられないかもしれない。姉さんが母さんに対して感情的な態度に出ることは、理不尽と受け取られ、忍耐が無く自己中心で傲慢だ、と捉えられてしまうのではないかと僕は恐れています。また、姉さんの母さんへの扱いや言動を見た時、周りの人のつまずきの石となってしまう可能性も恐れているのです。

繰り返すけれど、僕は心苦しく思いつつも、愛する大切に思っている姉さんを叱責するつもりでこの手紙を書いています。うまく伝えられなかったかもしれないけれど、聖霊が個人的に姉さんの心に語りかけ、和解の心を与えてくださる事を信じ、祈っています。どうか元気でいてください。

たくさんの愛と祈りを込めて。

姉さんの小さな弟より

私はこの手紙を読んだ後、1時間以上泣きながら神様に赦しを求めるのと同時に、弟を通して私に語りかけてくださった神様を誉め称えました。肉の自分はそれでもなお母を敬いたくないと思うのですが、その日から私は母に向かって声を荒げることが出来なくなりました。神様は私の祈りに応えてくださったのです！ 神様の約束はこうです。「わたしは彼らに一つの心を与え、彼らの中に新しい霊を授ける。わたしは彼らの肉から石の心を除き、肉の心を与える」(エゼキエル書 11 章 19 節)。

私と母の壊れた関係は、聖霊の力によって修復されました。私が家を出る前に私たちの関係を直して下さったことを神様に感謝しています。弟の手紙を受け取ってたった 6 日後、教会が主催する聖書の訓練学校に行くため、西マレーシアに飛びました。母が私を空港まで送ってくれました。そしてそこで、お別れに母を強く抱きしめました。10 年以上ぶりに母を抱きしめたのです。半年後、私はタイに引っ越し、幼稚園の先生としてコラートにあるアドベンチスト・インターナショナル・ミッションスクールで働き始めました。

もし私が母親との関係を修復することなく家を出ていたとしても、誰も私を責めはしなかったでしょう。しかし神様は、私が手放せなかった罪をそのままはびこらせることを許されませんでした。神様は、神様の完璧なタイミングで私の人生に奇跡を起こして下さり、タイに引っ越す前に、この罪を完全に取り去ってくださったのです。

3 年前の 13 回献金により、シャーマインの急成長している学校、アドベンチスト・インターナショナル・ミッションスクールは高等学校へと拡大し、コラートの新たな土地に教室やその他の棟を建てることができました。この学校の生徒たち、シャーマインやその他の教師たちのための皆様の祈りを感謝いたします。

〈お話しのヒント〉

- 次のお話では、シャーマインがどのようにイエス様に心を献げたかを聞くことができます (英文)。
- Facebook (bit.ly/fb-mq) から写真をダウンロードしてください。
- 南アジア太平洋支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードできます。
bit.ly/ssd-2022.
- この伝道地便りにある聖霊に導かれたシャーマインの人生は、セブンスデー・アドベンチスト教会の “I Will Go” 戦略計画の、以下の構成要素を表しています。それは、「聖霊の目標」の「聖霊に導かれるままに生きる」を例証しています。タイのミッションスクールの働きは、「都市、10/40 ウィンドウ、未開拓地や宣教地におけるクリスチャンではない人々に対する伝道を強化、多様化する」を例証しています。
IWillGo2020.orgにて、より詳しく学ぶことができます。